

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）  
 指標集計結果 集計表

対象年度	診療科	Kコード	名称	患者数	平均術前 在院日数	平均術後 在院日数	転院率	平均年齢
2023年度	1 内科	K688	内視鏡的胆道ステント留置術	80	2.91	13.91	5.00%	85.38
	2	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2 c m未満）	63	0.30	1.49	0.00%	65.48
	3	K697-32□	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2 c mを超え る）（その他）	41	5.07	6.85	0.00%	75.34
	4	K6152	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） （選択的動脈化学塞栓術）	21	1.00	11.10	0.00%	75.81
	5	K533-2	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	-	-	-	-	-

**【解説】**  
 内科で多い手術は、内視鏡的胆道ステント留置術、内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術です。  
 内視鏡での実施のため、術前後の在院日数は短くなっています。  
 続いて、肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法、血管塞栓術が上位を占めており、内科では約9割が内視鏡下での手術です。  
 患者数が10未満の症例については、数値を掲載していません。

	診療科	Kコード	名称	患者数	平均術前 在院日数	平均術後 在院日数	転院率	平均年齢
1	循環器科	K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	42	1.95	3.69	0.00%	72.21
2		K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	11	2.00	2.55	0.00%	77.73
3		K597-2	ペースメーカー交換術	10	1.10	6.60	10.00%	85.70
4		K5952	経皮的カテーテル心筋焼灼術（その他）	-	-	-	-	-
5		K5972	ペースメーカー移植術（経静脈電極）	-	-	-	-	-

**【解説】**

循環器内科で最も多い手術は、経皮的冠動脈ステント留置術です。続いて下肢閉塞性動脈硬化症の患者さんに対する四肢の血管拡張術・血栓除去術が上位を占めています。

当院ではカテーテル治療に力を入れており、可能な範囲で緊急対応も行っています。

患者数が10未満の症例については、数値を掲載していません。

診療科	Kコード	名称	患者数	平均術前 在院日数	平均術後 在院日数	転院率	平均年齢
1 外科	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	30	1.40	7.37	0.00%	68.63
2	K6335	鼠径ヘルニア手術	17	1.12	5.88	0.00%	74.35
3	K61214	末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術） （単純）	13	9.31	87.69	0.00%	77.08
3	K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	13	1.00	6.23	0.00%	65.38
4	K616-41	経皮的シャント拡張術・血栓除去術（初回）	11	20.00	10.82	0.00%	76.36
4	K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	11	5.36	19.64	0.00%	77.18
5	K6113	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテー テル設置（頭頸部その他）	-	-	-	-	-

**【解説】**

外科で最も多い手術は、腹腔鏡下胆嚢摘出術です。続いて鼠径ヘルニア手術、末梢動静脈瘻造設術が上位を占めています。地域の開業医の先生方から患者さんを紹介いただき手術を実施することもあり、緊急手術対応も行っています。また、胆嚢摘出術、鼠径ヘルニア手術は腹腔鏡下で手術を行っていますが、従来の開腹での手術も行っています。

	診療科	Kコード	名称	患者数	平均術前 在院日数	平均術後 在院日数	転院率	平均年齢
1	整形外科	K0461	骨折観血的手術（大腿）	59	2.41	41.51	16.95%	82.61
1			骨折観血的手術（上腕）	-	-	-	-	-
2		K0462	骨折観血的手術（前腕）	18	0.22	7.94	0.00%	68.33
2			骨折観血的手術（下腿）	12	2.00	26.17	0.00%	58.08
3		K0811	人工骨頭挿入術（股）	20	5.75	46.85	20.00%	79.95
4		K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術（下腿）	10	0.00	2.80	0.00%	55.60
			骨内異物（挿入物を含む）除去術（前腕）	-	-	-	-	-
5		K0821	人工関節置換術（膝）	11	3.64	37.00	0.00%	73.45
			人工関節置換術（股）	-	-	-	-	-

**【解説】**

整形外科で最も多い手術は、大腿骨・前腕骨・上腕骨・下腿骨の骨折手術です。前腕骨・下腿骨の骨内異物（挿入物を含む）除去術、股関節の人工骨頭挿入術、股関節・膝関節の人工関節置換術となっています。

骨折手術の中でも大腿骨の手術が最も多く、高齢の患者さんに多い手術となっています。

	診療科	Kコード	名称	患者数	平均術前 在院日数	平均術後 在院日数	転院率	平均年齢
1	脳神経外科	K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	-	-	-	-	-
2		K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	-	-	-	-	-

**【解説】**

脳神経外科では、硬膜下血腫に対する穿孔洗浄術を行いました。  
胃瘻造設術は脳神経外科入院中に内科に依頼し実施しています。  
患者数が10未満のため、数値を掲載していません。

診療科	Kコード	名称	患者数	平均術前 在院日数	平均術後 在院日数	転院率	平均年齢
1 眼科	K28210	水晶体再建術（眼内レンズを挿入）（その他）	284	0.06	2.11	0.00%	76.36
2	K2191	眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	16	0.00	2.00	0.00%	73.75
2		眼瞼下垂症手術（筋膜移植法）	-	-	-	-	-
3	K2193	眼瞼下垂症手術（その他）	-	-	-	-	-
4	K224	翼状片手術（弁の移植を要する）	-	-	-	-	-
5	K2172	眼瞼内反症手術（皮膚切開法）	-	-	-	-	-

**【解説】**

眼科で最も多い手術は白内障に対する水晶体再建術です。片眼は1泊2日、両眼は3泊4日で実施しており、紹介患者も多く、手術件数の約9割を占めています。続いて眼瞼下垂手術、翼状片手術、眼瞼内反症手術となっています。患者数が10未満の症例は、数値を掲載していません。

診療科	Kコード	名称	患者数	平均術前 在院日数	平均術後 在院日数	転院率	平均年齢
1 泌尿器科	K80364	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）	-	-	-	-	-
2	K768	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	-	-	-	-	-
3	K8411	経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用）	-	-	-	-	-
4	K821	尿道狭窄内視鏡手術	-	-	-	-	-

**【解説】**

泌尿器科では、膀胱悪性腫瘍手術、体外衝撃波による結石破碎術、経尿道的前立腺手術、尿道狭窄内視鏡手術を行いました。患者数が10未満のため、数値を掲載していません。